

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)鎌倉市常盤計画 新築工事	階数	地上7F
建設地	神奈川県鎌倉市常盤字下耕地18番4	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、工業地域	平均居住人員	291 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年11月8日
敷地面積	3,737.39 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	1,568.73 m ²	確認日	2021年11月14日
延床面積	7,821.65 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 81% (37 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 81% (37 kg-CO₂/年・m²)

④上記+: 81% (37 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

音環境	3.1
温熱環境	3.8
光・視環境	3.8
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	3.7
耐用性	3.0
対応性	2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	2.2
非再生材料の	2.7
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.7
地域環境	3.0
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 地域の景観に配慮したボリューム設定とし、道路等の公共空間との間に植栽を施し、周辺からの見え方に配慮した計画とした。 また、周囲への圧迫感の軽減の為、ガラス手摺や飾り柱を用いて建物ボリュームを分節し、周囲の街並みとのスケールの調和を図った。		0
Q1 室内環境 ・住戸には庇(バルコニー)及びカーテンレールを設置。 ・F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の合計70%以上の面積に採用。	Q2 サービス性能 ・住宅性能表示基準劣化対策等級3を取得。	Q3 室外環境(敷地内) ・建物の配置、形態、植栽などを周辺環境との調和に配慮した計画としている。
LR1 エネルギー ・住宅性能表示基準断熱性能等級4を取得予定。 ・潜熱回収型給湯器エコジョーズを採用。	LR2 資源・マテリアル 工法にGL工法を用いることで躯体と仕上材等の分別を容易とし、再利用可能性の向上に努めた。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 削減に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される